

2020年9月8日

## 次世代インターコネクトサービス「Flexible InterConnect」において 「SAP HANA® Enterprise Cloud」との接続を開始

～簡単・迅速・セキュアに閉域網での基幹データ利用が可能に～

NTT コミュニケーションズ(以下 NTT Com)は、さまざまな ICT リソースをオンデマンドでセキュアに接続可能な次世代インターコネクトサービス「Flexible InterConnect」において、2020年9月8日より、SAP 社がパブリッククラウド上にて展開するマネージドクラウドサービス「SAP HANA® Enterprise Cloud」との接続を開始します。

「Flexible InterConnect」は、クラウドサービスやデータセンターなどを閉域網で繋いだネットワーク接続基盤で、さまざまな ICT リソースへの安定・セキュアな通信を実現するサービスです。また、「SAP HANA® Enterprise Cloud」は、SAP ソリューションを最大限引き出すためのマネージドクラウドサービスであり、「Amazon Web Services (以下 AWS)」

「Microsoft Azure (以下 Azure)」 「Google Cloud Platform™ (以下 GCP)」のパブリッククラウド上で提供されています。このたびの接続開始により、「SAP ERP」をクラウド上で運用している場合に、閉域網による安定したネットワーク環境で ERP の基幹データを利用することができます。

### 1. 背景

経済産業省の DX に関するレポートで問題提起されたことで話題となった、いわゆる「2025年の崖」※の主たる要因は、長年使われ続けてきた基幹システムの維持運用に費やされるコストや人的リソースとされています。現在、「崖」を回避するため多くの企業が基幹システムの見直しを進めており、オンプレミスで構築されている「SAP ERP」の移行先として、「SAP HANA® Enterprise Cloud」を選択する企業が大幅に増加しています。

一方で、経営情報などの重要なデータにインターネットを経由してアクセスすることになるため、安定性やセキュリティポリシーの面から移行が難しいという例も出てきています。

NTT Com はこのような課題を解決し、企業のお客さまのデジタルトランスフォーメーション(DX)実現に貢献します。

### 2. 特長

#### (1) どのパブリッククラウドでも対応可能

「Flexible InterConnect」は、「SAP HANA® Enterprise Cloud」で選択できるすべてのパブリッククラウド(AWS、Azure、GCP)に対して接続可能です。このため、企業のお客さまは、自社ポリシーに応じて最適なクラウドを利用することができます。

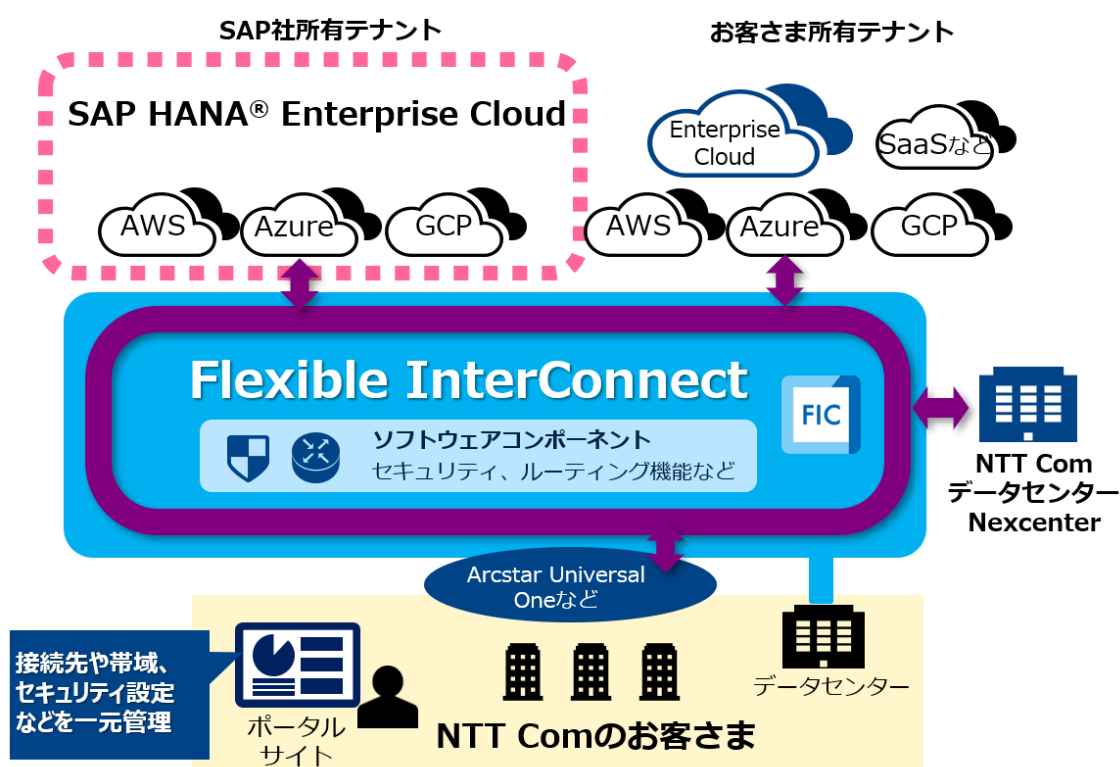
(2) マネージドネットワークにより基幹システムの安定化に貢献

経営情報を統合的に管理するため、「SAP HANA® Enterprise Cloud」には、他の社内システムや SaaS などのクラウドサービスから多くのデータが集積されます。それゆえ、各リソースと接続するネットワークの品質が重要となります。

「Flexible InterConnect」は「SAP HANA® Enterprise Cloud」が採用する各パブリッククラウドと直接接続されているため、インターネットで接続するよりも、セキュアに、かつ安定した品質で確実に基幹データの処理を行うことが可能になります。また、万一ネットワークでトラブルが生じた場合にも、NTT Com がその状況を把握して対処できるため、お客様の手を煩わせることはありません。

(3) リソースをオンデマンドに変更可能

「Flexible InterConnect」では、オンデマンドでの柔軟な制御が可能です。例えば、月末に大量のデータ連携が発生する時にだけ帯域を増速することでコストを柔軟にコントロールしたり、「SAP HANA® Enterprise Cloud」へ接続するシステムを追加・削除したりすることも、ビジネス上の必要に応じて、迅速に実施することが可能です。



3. 提供開始日

2020年9月8日

#### 4. 利用料金

次の Web サイトをご参照ください。あるいは、NTT Com 営業担当までお問い合わせください。

Flexible InterConnect 料金 <https://fic.ntt.com/pricing/>

#### 5. パートナー企業からのコメント

##### ■SAP ジャパン株式会社 エンタープライズクラウド 第二営業部 部長 稲葉 紀子 氏

SAP ジャパンは、NTT コミュニケーションズが提供する「Flexible InterConnect」の「SAP HANA® Enterprise Cloud」との接続開始を歓迎いたします。本サービスが開始されることで、お客さまはネットワーク環境の課題に煩わされることなく、お客さま自身のコア業務に注力頂けるようになります。SAP ジャパンは NTT コミュニケーションズと連携し、お客さまのデジタルトランスフォーメーションを推進し、お客さまの企業競争力向上を支援してまいります。

#### 6. NTT Com の SAP ソリューション展開

NTT Com は、SAP 社のプロダクトと、キャリアならではのグローバルなネットワーク・セキュリティ・マネージドサービスの組み合わせによるソリューションを提供しています。「Flexible InterConnect」とあわせて、総合的に SAP ソリューションをご利用いただくことができます。

##### (1) コンサルから運用までのワンストップソリューション

基盤選定、移行計画、運用設計から実際の移行・運用までワンストップでサポートします。これにより、お客さまの事業戦略にもとづいたスムーズなクラウド移行を実現します。

##### (2) マルチクラウド、マルチリージョンに対応

基幹システムと連携する周辺システムをマルチクラウドで構築、運用可能です。グローバルで標準化された運用体制でシステム環境を全体最適化します。

##### (3) フルスタックで強い基幹システム

ネットワークから「SAP BASIS」までフルスタックで提供します。また、複雑なシステム環境も一元的にサポートし、お客さまがコア業務に集中できる環境を実現します。

##### (参考)

「Flexible InterConnect」は、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)に必要なすべての機能をワンストップで提供する「Smart Data Platform」におけるインターコネクト機能を担っています。「Smart Data Platform」については、下記 Web サイトをご参照ください。



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

※: 2018年9月に経済産業省が発表した『DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～』

( [https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/digital\\_transformation/20180907\\_report.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html) )において、DXの実現を阻む課題として指摘された危機的状況のこと。レガシーシステム(同省によると、老朽化、肥大化・複雑化、ブラックボックス化してしまった既存システム)の保守運用や継承が足かせとなり、DXが実現できないばかりか、2025年以降、年間最大12兆円の経済損失が生じる可能性があるとして指摘されています。

\*SAP、SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。